

令和6年度 第1回 学校運営協議会(全日制部会)議事録

校名	大阪府立佐野工科高等学校
校長名	松野 良彦

開催日時	令和6年 6月27日(木) 15:30～16:45
開催場所	佐工会館1F
出席者(委員)	山田啓次会長、深井重行副会長、上野公義委員、杉本英雄委員、町谷雄二委員、西尾みどり委員
出席者(学校)	松野校長、佐藤教頭、佐々木事務部長、飯田、金丸、瀧本、川村、片岡、山際、赤穂、森栗、古谷(明)、浦田、五十棲、坂本、中嶋
傍聴者	なし
協議資料	令和6年度学校経営計画及び学校評価、令和6年度各分掌目標、令和6年度普通科・各系組織目標、令和7年度使用教科書選定理由一覧表、令和7年度使用教科書(選定・採択)一覧表、令和6年度「地域産業連携重点型工科高校」としての取り
備考	

議題等(次第順)

- ・令和6年度学校経営計画及び学校評価
- ・令和6年度 各分掌・系よりの目標設定
- ・令和7年度使用教科書選定理由一覧表、令和7年度使用教科書(選定・採択)一覧表
- ・令和6年度「地域産業連携重点型工科高校」としての取り組み(佐野工科地域コンソーシアム)

協議内容・承認事項等(意見の概要)

●令和6年度学校経営計画の方針に対する質問
(生徒数が激減、過渡期ともいわれる高校教育で、ICT機器の活用や定期考査を廃止するなど他校との違いをアピールする取り組みが頼もしい)
○生成AIの活用はたいへん魅力的で、企業より学校のほうが先端を走っているように思う。
○中学校では生成AIやchatGPT悪用に関する懸念事項があってもなかなか進まない。授業として具体的な活用方法を教えてほしい。

【Ans】例えば、グループワークの中で一定意見が出た後、ファシリテーターとしてAIを使い、意見の要約100文字にまとめるなどが可能。電気系ではプログラミングで誤った言語入力箇所を教員の代わりに修正することや生徒自身で問題解決にAIの力を借りることもできる。

○生成AIを使った製品づくりとしての例はあるか。

【Ans】産業創造系では画像生成AIの作品をバーチャル空間に展示することを行っている。2Dアニメーションや3Dモデリングなども可能である。

○AI導入に関して有料版と無料版があるが、明らかに有料版のほうが優れている。学校ではどうか。

【Ans】現在は府庁でブロックされ、学校の回線では使えないものがある。chatGPTはライン登録で使える。

●各分掌や各科系の方針に対する質問

○電気系や機械系は資格取得がアピールされているが、産業創造系では資格取得への取り組みがあるのか。

【Ans】色彩検定やQC(品質管理)検定などがとりやすいような授業の内容を実施している。系全体で資格を取らせるような取り組みをしていないが、生徒の希望に合わせて個別に対応しており、電気工事士の資格を取る生徒もいる。産業創造系ではデザイン・機械・電気・情報など各方面専門の教員がいるので、多岐にわたる就職選択にも対応できるようになっている。

○昨年度10月25日26日の商工まつりイベント参加に対するお礼と今年度実施に向けての依頼。

○企業での取組としてchatGPTであいさつデータを作らせたり、税理士の人手不足を補うようにAIを活用したりしている。使われる人材は不要になっていくかもしれないが、ぜひともAIを使いこなせるような人材を育てていただきたい。

○スタディサプリについて詳しく教えてほしい。

【Ans】一人当たり年間¥6,000程度でコンテンツ講座数が多く、一般常識的な基礎学習(中学)再確認もできる。本校では朝のSHR学習などで使用している。学年によって使い方の差があるが、毎日続けることで向上が期待できる。結果の検証把握が必要だが、就職SPIに対応できるよう狙いがある。

●教科書選定に対する質問は特になし。

●まとめ

○令和6年度学校経営計画、教科書選定に関する資料について承認された。

○資格をしっかりとれるように、また生成AIの活用も進めていただきたい。

●地域連携重点型工科高校としての取組の説明(実績と今後の予定)

PRとしての学校説明会、外部開催以外でも随時本校への学校見学の受け入れを行っている。

次回の会議日程

日時	令和6年11月28日(木)15:30～を予定
会場	佐工会館1F